

2024.2.15

ギカイ の ひろば

◇CONTENTS

「寿楽」を多世代交流施設へ ▶P4

国に意見書提出

～オスプレイ墜落事故を受けて～ ▶P5

町政を問う

～議員14人から一般質問19件～ ▶P6～P12



特集

西多摩初!

議会モニターの
皆さま

西多摩初！ 議会モニターの 皆さま

町議会では、議会改革や活性化を推進し開かれた議会を目指すために、議会モニターを募集しました。モニターの皆さまには議会や委員会などを傍聴していただき、意見や感想、アドバイスなどを議会に届けていただきます。それらを基に、会議の方法や周知の方法など多方面から議会を改善していきます。今回のモニターの皆さまは、退職された方、現役のサラリーマン、子育て中の方、町で事業をされている方など年齢も職種も幅広い7名のメンバーで構成されました。今回は6名のモニターの方がインタビューに答えてくれました。



議員に「もっと突っ込め！」「ついでの中で叫んだ時もありました(笑)」

Q 普段は何をされていますか？

— 会社役員として、店舗経営やネットショップなど幅広く活動しています。
— 趣味で書道と色鉛筆画をやっていて、総合文化祭やコミセンまつりなどに作品を提供しています。
— 自宅兼会社なので、自宅で経営や経理の仕事をしています。
— 退職後、若年層の就職支援に力を尽くしたいと考えて、3年前にキャリアコンサルタントの資格を取得し、活動しています。
— 友人と瑞穂町を元気にする会をつくりました。

イベントを企画したり参加して活動しています。

— 普段はサラリーマン。ライター資格を生かして地域で活躍している方々をSNSなどで紹介しています。

Q どうして議会モニターに参加しようと思ったのですか？

— 瑞穂町に居住して30年。この町で子育てし愛着があります。これまでの企業で培ってきた経験をまちづくりを生かせないかと思い応募しました。

— コロナ禍をきっかけに国や町の在り方を考えるようになりました。そこで、まず、行政を知ろう。そのために参加することから始めようと思いました。
— この町で生まれ育っているのに、町のことをほとんど知らない。でも、特に不自由なく過ごしているといった日々でした。年を重ね、少しずつ政治への関心が高まっていく中で、4月に行われた町議会選挙の時に十分な情報がない中で誰に投票すればいいのか判断ができませんと感じました。そこで、町の議会に関心が湧いてきました。

Q 議会モニターとして参加される前の議会のイメージってどんなでしたか？

— 本会議は映像で見ていたのでなんとなく雰囲気はつかんでいましたが、委員会は何をしているか全く分からないといった感じですね。
— お堅い人たちがお堅い言葉を使って話合っているといったイメージですかね。
— 町側と議会側でもっと熱く紛糾するのかな？(笑)

Q 瑞穂町が「こんな町になってほしい」という希望がありますか？

— 町に魅力があって、それを理由に進んで町に住む。そんな魅力的な町。
— 子どもたちが国や町や地域を誇りに思い大切にしたいと感じる町。
— コミュニティが活発で、誰もが楽しめる町。
— 町民が地域に貢献して、行政が町民の期待に応える町。

Q 実際に本会議や委員会などを見ていただいた感想は？

— 議案の審査では、一つの問題について、複数の議員がいろんな角度から追及しているのが良かったと思います。少し安心しました。
— 一般質問では、議員に「もっと突っ込め！」「ついでの中で叫んだ時もありました(笑)」
— 委員会での陳情審査では、私も議員に交じって議論に参加したくなりました(笑)。
— 学校ではあまり地域の政治を学ぶ機会がなかったのに、「こんな風にして身近な政治が決まっていくんだなあ」と思いました。

Q 読者の皆さんにメッセージをお願いします。

— 議会は町の進む方向を最終決定するところです。その決定に側面から参加できるなんてチャンスです。皆さんも傍聴したり、議会や議員に意見を届けるなど、自分なりのやり方でぜひ、まちづくりに参加してください。
— 積極的に傍聴しましょう。町や議員の考え方が分かります。
— 議員の皆さんも議会事務局の皆さんもフレンドリーです。安心して傍聴にきてください。

Q 他に何か気付いたことはありますか？

— 若い議員が少ないかなあ。
— いい意味でも悪い意味でも議会と行政って仲がいい感じ。
— 会議中って飲み物もとってはいけないんですね。

— 協力ありがとうございました。
— 議会へのご意見やご感想などは議員全体で共有し、改善に向けて話し合っていきます。



pick up1

議案第76号 瑞穂町敬老金条例の一部を改正する条例

敬老金の対象年齢を変更

超少子高齢化が進み、町の高齢化率が30%を超え、今後この事業を継続していくために対象年齢を見直し、88歳と100歳以上の方に支給する議案が町側より提出されました。

- Q 歳出への影響額は。
- A 6年度は約100万円、7年度からは600万円～700万円程度が減額となる予定である。
- Q 近隣市の状況は。
- A 青梅市が100歳、羽村市は88歳、100歳。福生市は敬老金が100歳で、77歳、88歳に記念品を贈呈している。

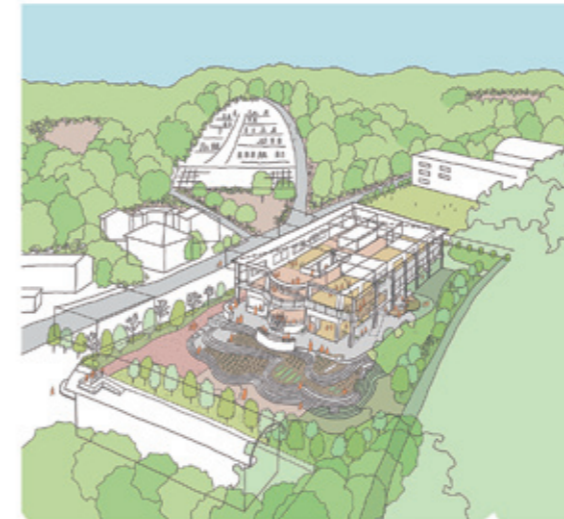


100歳おめでとうございます

pick up2

議案第80号 瑞穂町高齢者福祉センター改修工事請負契約について

「寿楽」を多世代交流施設へ ダンススタジオ、音楽スタジオも設置



瑞穂町高齢者福祉センター完成イメージ

「寿楽」に五小の学童保育クラブが併設されます。さらに、乳幼児から高齢者まで、誰でも交流できる多世代交流施設に改修する議案が町側から提出されました。

- Q 都からの補助金は見込めないのか。
- A 子供・長寿・居場所区市町村包括補助事業9,900万円を見込んでいる。
- Q 学童の設置以外に魅力的な施設への工夫は。
- A 有料の創作ルーム、音楽スタジオ、ダンススタジオを予定している。利用料などについては研究中である。
- Q 名称の変更予定は。
- A 名称や愛称などは今後決定していく。
- Q オープン予定は。
- A 令和7年4月を予定している。

契約方法 制限付一般競争入札
契約金額 7億1,390万円（落札比率88.7%）
契約相手 株式会社山武コーポレーション（武蔵村山市）
補助金 約3億7,000万円（防衛省）ほか

※全ての議案の詳細は
HPでご覧になれます。



委員会提出議案第2号

米空軍横田基地配備のCV-22オスプレイの墜落事故に関する意見書
(要約)

11月29日午後2時45分ごろ、嘉手納基地第353特殊作戦群所属米空軍横田基地配備のCV-22オスプレイが鹿児島県屋久島沖約1キロの地点に墜落し、搭乗員の死亡が確認され、国内での初の死亡者となる重大事故が発生した。操業中の漁業関係者や住民の人命をも巻き込む大惨事につながりかねないものであった。加えて令和5年1月19日及び9月25日のCV-22オスプレイの瑞穂町市街地上空における低空旋回飛行もあり、町民の衝撃は大きく、その不安と恐怖は計り知れないものがある。

CV-22オスプレイについては、令和4年8月16日に、安全上の事故が相次いでいることから、米空軍特殊作戦群司令官の指示により、全機の飛行運用を一時的に停止するよう指示が出されたが、9月には飛行運用が再開されている。

よって、本町議会は、米空軍横田基地配備のCV-22オスプレイの墜落事故に対し、瑞穂町民の生命と財産を守る立場から、厳重に抗議するとともに、関係各機関へ下記事項を強く要求する。

記

- 1 事故原因が究明され、原因の根本的な解消がされるまで、飛行運用を中止すること。
- 2 事故原因の早急な徹底究明と関係する情報を速やかに提供すること。
- 3 民間地上空での米空軍機の飛行と訓練等の中止など、抜本的再発防止策を講ずること。

令和5年12月5日

東京都西多摩郡瑞穂町議会

衆議院議長、参議院議長

内閣総理大臣、内閣官房長官、外務大臣、防衛大臣、北関東防衛局長

在日米軍兼第五空軍司令官、在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官 宛

陳情

賛否の分かれた陳情

○…賛成 ×…反対 ※議長は採決には加わりません。

件名	付託先	自民								公明		共産	笑顔	維新	立憲	結果
		森	榎本	古宮	下澤	香取	大和	高橋	小川	下野	原	大坪	井上	奥泉	川島	
5陳情第23号 「脱原発・脱炭素と再生可能エネルギーへのエネルギー転換に向けた政策を加速することを求める意見書」提出を求める陳情書	総務産業建設委員会	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	不採択

自民：自民誠和会 公明：公明党 共産：日本共産党 笑顔：もっと瑞穂に笑顔 維新：日本維新の会 立憲：立憲民主党

その他の陳情

番号	件名	付託先	結果
5陳情第18号	「改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の存続を働きかける意見書提出を求める請願署名」を政府に送付することを求める陳情書	厚生文教委員会	継続審査
5陳情第19号	健康保険証の存続を求める陳情	厚生文教委員会	継続審査
5陳情第24号	「ガソリン価格の高騰対策として、トリガー条項の発動とガソリン税・軽油取引税への消費税課税停止・見直しを求める意見書」を政府に送付することを求める陳情書	総務産業建設委員会	継続審査
5陳情第25号	瑞穂町の公の施設の事務所設置条例制定を求める件	総務産業建設委員会	不採択

奥泉 淳広 議員 (日本維新の会)

核シエルターを備えた
先進的複合施設の建設を



町長 町としては非現実的だと
答えざるを得ない



質問 狭山稲荷山公園、村の役割は、主に情報所沢航空記念公園のよに緑化された公園内に、スポーツ施設、給食センター、横田基地資料館や国民保護法に合致した電磁パルス攻撃対策核シエルターを設置し、災害時には温かい食事が提供可能な避難所として、平時には集客施設として多摩都市モノレールの交通需要を喚起できる、地域活性化とモノレール延伸の相乗効果を発揮する先進的複合施設を建設してはどうか、所見を伺う。

町長 国は、武力攻撃事態などにおいて、武力攻撃から国民の生命、身体、財産を保護するため「国民保護法」を制定している。市区町



瑞穂町国民保護計画

理技術、経費、核攻撃後の電源、燃料、空気清浄、食料確保、医療・衛生体制などに対応しなくてはならない。核シエルターを備えた施設建設は、町として非現実的であると答えざるを得ない。

井上 一也 議員 (もっと瑞穂に笑顔)

町内会等が管理する集会所への
光熱水費高騰に伴う補助金を



町長 補助は難しい



質問 町内会等で行う地域の交流を深める事業は町内会費等で賄われている。しかし、集会所をもつ一部の町内会では、その光熱水費を町内会費で負担するため、光熱水費の高騰により、事業へ支出できる金額が減ってしまう恐れがある。我が町でも町内会等の組織率が低下し、地域コミュニティの存続が危ぶまれている。このため、集会所を所有する町内会の負担軽減のため、光熱水費への補助を実施してはどうか、所見を伺う。

町長 町内会・自治会は法律上、行政の管理権限の及ばない団体であり、他の各種任意団体と同様の位置づけとなっている。原油価格、物価高騰に対する補助を特に講じるとなると、他の団体との間で不公平が生じる。また、集会所は町内会・自治会など地域の持ち物であるから、自ら維持管理経費を賄うべき施設である。以上のことから、補助は難しい。なお、町内会の活動に対しては地域づくり補助金などで支援を行っているが、行政支援の範囲が広がられるよう努める。



さかえ町集会所

こんな質問もありました
こどもフェスティバルに送迎バスの導入を
教育長 保護者や付添い者があることが基本。



大和 雅彦 議員 (自民誠和会)

デマンド交通 (乗合型のタクシー) を導入し、
利用者の利便性を高め、町の経費削減を



町長 引き続き検討を行っていく

質問 コミュニティバス実証実験が延長継続中で運行5コースのうち3コースで1便当たりの乗車人員が1人未満である。令和4年度の収支率は5・7%で、町の負担額は1億2000万円を超える状況

である。地域公共交通会議では、一部の現行コースについて、代替交通手段への切り替えの見直しも示されている。自宅から指定乗降場所へ事前予約で送迎するデマンド型タクシーが代替として最適と考えるが、今後の対応について所見を伺う。

町長 一部地域において、デマンド交通をはじめとする代替サービスの切り替えも視野



武蔵村山市の乗合型タクシー「むらタク」

に、地域公共交通会議で議論されている。オデマンド型にしたとしても、運転する人への確保するのか、料金、運行時間帯、乗降場所をどう設定するのかなど、事前に整理すべき事項が多くある。地域公共交通会議での専門的な議論や、地域の声も大切にしながら町にしっかりと根づく利便性の高い公共交通の実現に向け、引き続き検討を行っていく。

香取 幸子 議員 (自民誠和会)

町営少年サッカー場の
環境整備について



教育長 限られた財源の中で、
維持管理に努める



質問 町営少年サッカー場は、子どもたちのサッカーの練習や対外試合のほか、地域の行事や多種のスポーツを通じた交流の場として活用されている。一方で、照明設備がないため、使用環境が十分でない状況も見受けられる。

町長 現在のところ、工事の予定はない。

教育長 直接グラウンドにかかる面積は、約100平方メートルと認識している。今後、整備される場合は、進捗に並行して、影響が出る範囲を改めて把握して、対処をする。

サッカー場の敷地は、福生都市計画道路3・4・26号線の計画が一部かかり、将来的な道路整備による変化も見込まれるが、夜間照明の設置など計画的な環境整備の推進について、所見を伺う。



町営少年サッカー場

地域コミュニティについて



町長 行政と町民が互いにアイデアを出し合い、課題解決に取り組み



質問 人口減少、超少子高齢化、家族構成の変化、住民の価値観・考え方の多様化により、地域コミュニティの中心であった町内会・自治会の加入率を含む組織力の低下は全国的に起きている。瑞穂町においても同様の傾向がある。

町長 町内会・自治会は、自立的組織であり、地域に暮らす人々が、その必要性を自覚しない限り、存続し得ない。



クリスマス間近に行った廃品回収

質問 平成25年12月の一般質問で長年放置されたままの空き家への対策が取り上げられた。以降、幾度となく空き家対策は一般質問されている。平成26年11月27日に公布された空家等対策の推進に関する特別措置法において、第4条で住民に最も身近な行政主体である市町村が地域の実情に応じた空き家等に関する対策の実施主体として位置付けられている。10年が経過する今、町による具体的な研究成果と今後の強化策を伺う。

古宮 郁夫 議員 (自民誠和会)

「町の空き家対策」振り返りと強化について



町長 空き家関連条例制定、強権発動について検討



町外の管理不全空家

町長 平成28年度実態調査で管理が行き届いていない空き家件数60件が抽出され、55件は改善が図られている。

原 隆夫 議員 (公明党)

学校プールの老朽化対策や町民の健康増進のために町内に屋内温水プールの整備を



教育長 屋内温水プールの建設計画はない



質問 水泳授業を校外の屋内温水プールで行う動きが広がり、プールを廃止する小・中学校が増えている。熱中症リスクが減り、雨天の心配もない。教員の働き方改革にもつながっているという。学校

教育長 現在、町のスポーツ推進計画も含め、屋内温水プールの建設計画はない。学校プールの適正な維持管理のために、瑞穂町学校施設長寿命化改修費は億単位となり、各地で見直しが進んでいる。健康増進のため町内に温水プールをという声もある。学校プールの老朽化対策、水泳授業の在り方を含め、新たな体育館とともに屋内温水プールの整備が必要と考えるが、



改修前の二中プール

榎本 義輝 議員 (自民誠和会)

粗大ごみ収集の改善とリユース促進を



町長 廃棄物の減量と適正な処理方法に取り組んでいく



質問 令和4年6月議会で「プラスチック資源循環促進法の施行に伴いやるべきことは」と題し、一般質問した中でリユース促進のためには軽トラックの貸出しやリユースコーナーの充実が必要と提言したが、収集作業についても改善が必要と考える。現在、粗大ごみを持ち込める日は平日と第1日曜日であり、収集作業については、第1日曜日は除外されている。町民のニーズやリユース促進の観点から改善が必要と考えるが、所見を伺う。

町長 自然災害による被害を最小限に抑えるためには自助・共助・公助を基本とした防災対策を進めなければならない。

町長 持ち込まれる粗大ごみは1日に1000件を超える日もあり、職員数や受入施設の広さから処理作業も容易



粗大ごみが持ち込まれている様子

下野 義子 議員 (公明党)

がんの早期発見につながる 検査に公費助成を



町長 国や都の検討内容を 指針を注視し、対応につなぐ



質問 がんは2人に1人が罹患し、4人に1人が死亡するといわれる。町は、町民の命を守るため各種がん検診や受診勧奨を実施しているが受診率は伸び悩んでいる。より多くの方への早期発見、早期治療を進めるため、以下の早期発見につながる検査などに公費助成を行い、さらなるがん対策に取り組みたい。

問① ピロリ菌検査。

問② 中学生のピロリ菌検査の導入。

町長 ①②のピロリ菌検査については、ピロリ菌と胃がん発生リスクとの関連性は、多くのがんリスクの中の1種類に限られた検査である。

問③ PSA検査。

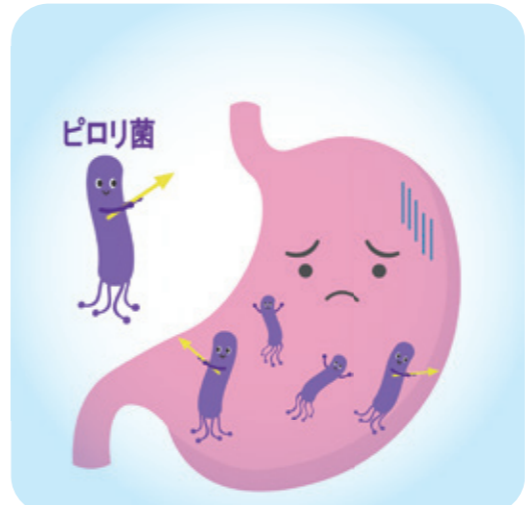
問④ 特定健診にPSA検査追加(有料)。

町長 ③④のPSA検査については、早期発見と死亡率の減少効果が明らかではないという国の見解が変わっていない。

①から④については、病気を防げるかどうか、科学的根拠が不確かな状況で、公費を投入する決断には至らない。

問⑤ 人間ドック。

町長 人間ドックへの公費助成制度は廃止した経緯があるが、現在40歳以上であれば、無料で健康診査が受診できる。国や都の検討内容や指針の変更の有無などを注視し、対応していく。



PSA検査…前立腺がんの可能性のある人を見つけるための検査。



小川 龍美 議員 (公明党) 箱根ヶ崎駅西の 公有地活用について



町長 駅前中心商業地の形成に向けた まちづくりを進めていく



2月に開催されたOHAKO MARKET (おはこマーケット)の様子

質問 多摩都市モノレール延伸などを見据え、駅周辺のにぎわい創出に向けた暫定的なコミニティ拠点づくりである「箱根ヶ崎駅西公有地活用プロジェクト」が令和5年4月からスタートした。駅西の公有地の活用については以前、私の一般質問に対し、「複合施設を建設してそこに図書室を設置したい」との答弁であったが、その計画は今も生きているのか。公有地活用の長期的展望について伺う。

町長 現在、庁内にプロジェクトチームを発足し、暫定インフラの整備や各種イベントの企画・実施、ローカル冊子の製作などの取り組みを進めている。長期的なまちづくりの視点として、駅周辺は穂の顔、交流拠点にふさわしい都市機能の誘導を図り、にぎわいのある駅前中心商業地の形成に向けたまちづくりを進めていくという方向性に変更はない。図書機能を含めた複合施設の設定は、社会情勢の変化や、財政状況なども考慮し、現時点で具体化する段階はないと考えている。

町長 実施する考えはない。

こんな質問もありました
二酸化炭素の削減と配達業者の負担軽減を図るため、置き配バッグ配布事業の取り組みを

森 巨 議員 (自民誠和会)

町のデジタル化と社会資源の 現状と今後の取り組みを問う



町長 専門人材の確保と将来投資が必須



質問 現在、急速に進む少子高齢化、激甚化する自然災害などの社会課題を抱えながらも、町は町民の安全安心を確保し、快適な暮らしを提供していかなくてはならない。そのため、町はデジタル化をさらに推進し、スマートシティの実現を目指す。また、同時にデジタルデバイス対策や社会資源となる人材確保も進めていく必要がある。町のデジタル化と社会資源の現状と課題、将来目標と今後の取り組みについて所見を伺う。

町長 DXを進めるためには、専門人材の確保、行政と産業全体の意識改革と将来投資が必須となる。町は、デジタル国家戦略および都のスマートシティ構想を見据えて、その伴走型的人材支援を受けている。地域資源としての人が果たす役割を高度化することで、社会全般の生産性をさらに高めることができる。3月にDX推進方針を策定した。「デジタル」の力で全ての住民に新しい価値を」という基本理念の下、便利で安心して利用できる住民サービスの実現を目指していく。

スマートシティ…諸課題に対して、ICTやAIなどの新技術を活用しつつ、マネジメント(計画、整備、管理・運営など)が行われ、全体最適化が図られる持続可能な都市または地区。



大坪 国広 議員 (日本共産党)

米軍横田基地について



町長 周辺自治体と連携し 住民の実情を訴えていく

質問 毎年、基地強化が進行する横田基地について、次の5点の所見を伺う。

問① F-35のエンジン整備拠点の運用開始は。

町長 防衛省からは町内企業において、整備

問② 昨年6月に米国で発生したオスプレイの墜落事故でのクラッシュ問題を町はどのように捉えているか。

町長 安全性に問題がないという評価を経て、飛行を再開したと伺っている。今回の屋久島沖での事故もあり、今後もさまざまな情報を注視していく。

問③ オスプレイの低空飛行や人員降下訓練をやめさせるべきではないか。

町長 米国および国に対し低空飛行などを行わないよう、私たちが直接防衛省などに申し入れ、強く申し入れている。

問④ 令和6年度の4機の追加配備、第2期駐



町内を飛行するオスプレイ

質問 現在、急速に進む少子高齢化、激甚化する自然災害などの社会課題を抱えながらも、町は町民の安全安心を確保し、快適な暮らしを提供していかなくてはならない。そのため、町はデジタル化をさらに推進し、スマートシティの実現を目指す。また、同時にデジタルデバイス対策や社会資源となる人材確保も進めていく必要がある。町のデジタル化と社会資源の現状と課題、将来目標と今後の取り組みについて所見を伺う。

町長 DXを進めるためには、専門人材の確保、行政と産業全体の意識改革と将来投資が必須となる。町は、デジタル国家戦略および都のスマートシティ構想を見据えて、その伴走型的人材支援を受けている。地域資源としての人が果たす役割を高度化することで、社会全般の生産性をさらに高めることができる。3月にDX推進方針を策定した。「デジタル」の力で全ての住民に新しい価値を」という基本理念の下、便利で安心して利用できる住民サービスの実現を目指していく。



デジタルを活用し「書かない窓口」の実証実験をしている住民課

相談支援専門員について



町長 障がいのある人が相談しやすい体制づくりを推進する

質問 相談支援専門員に相談をすることが、障害福祉サービスを受ける第一歩となる。そこで、次の4点を伺う。
問① 障害福祉サービスを受けるまでの流れについて。
町長 まず、福祉課または相談支援事業所が相談を受け、内容に応じて申請手続きを行う。障害支援区分判定等審査会で判定された区分に従い作成されたサービス等利用計画案に沿って、サービス開始となる。
問② 町内の計画相談支援事業所数は。
町長 町内の事業所は3か所。
問③ 相談支援専門員は足りているか。

町長 相談支援専門員に相談をすることが、障害福祉サービスを受ける第一歩となる。そこで、次の4点を伺う。
問④ 基幹相談支援センターの設置について。
町長 基幹相談支援センターができる限り早い時期に設置できるように努力している。これからは障がいのある人や、その家族が相談しやすい体制づくりを推進していく。

こんな質問もありました
 スクールゾーンの規制時間の見直しを
教育長 今の時間帯で適切と考えている。



障害者週間に行われた絵画展示



質問 令和3年度から高齢者の居場所づくり事業がスタートした。高齢者が生きがいを持ち、健康に過ごすことを目的とした町民主体の自主事業だが、補助金の交付条件も安易なものではなく、持続的、発展的な居場所づくり事業とは認めにくい状況である。そこで次の3点を伺う。
問① 登録団体の活動と町の連携状況は。
町長 「居場所」としての機能を持つ「通いの場」は町内20の団体が運営している。その内、4つの団体が町の高齢者居場所づくり事業補助金を活用している。町との連携は現場に生活支援コーディネーターや介護予防・フレイル予防推進員が直接赴き、支援をしている。

高橋 洋子 議員 (自民誠和会)

高齢者の居場所づくりの課題を問う



町長 情報を一元化したマップ作りに取り組んでいる



居場所づくり事業で行われた介護予防健康体操

第2期

議会モニターを募集します



議会モニターの主な役割

- ▶ 議会が行う傍聴が可能な各種会議（本会議、委員会など）を可能な範囲で傍聴し、会議に関する意見を述べる事ができます。
- ▶ 瑞穂町議会だより「ギカイのひろば」・瑞穂町議会ホームページに関する意見を述べる事ができます。
- ▶ 委員会などから要請があった場合、会議に出席し、求めに応じて意見を述べる事ができます。

応募資格

- 次のすべてに当てはまる方
- ・ 町内に在住、または在勤する18歳以上の方
- ・ 前向きで建設的な話し合いに協力できる方
- ・ 国または地方公共団体の議員（元議員を含む）や、常勤の公務員でない方

募集人員

7名以内 ※再任は妨げません

任期

令和6年4月1日より令和7年3月31日

謝礼

議会モニターは無償となります。

応募締切

令和6年3月11日(月) まで (必着)

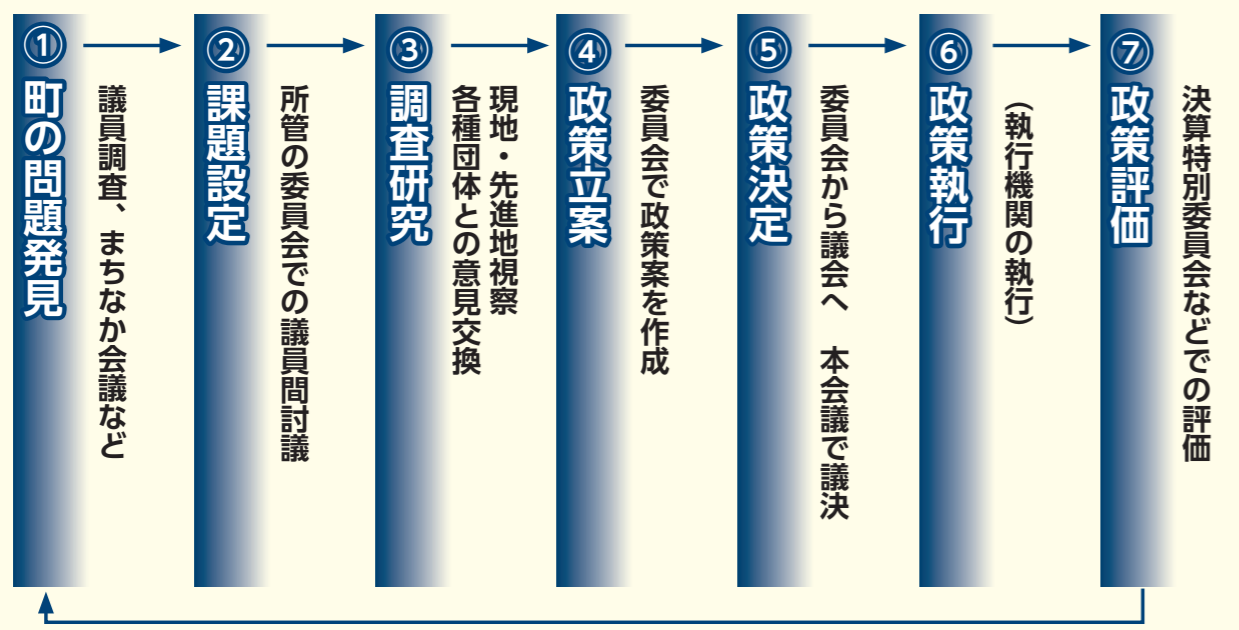
申込み・問合せ先

議会事務局議事係 ☎557-7693

政策形成サイクル

もっと住みよい町へ、あなたの声からはじまるまちづくり

町民の皆さまから寄せられた声や意見をきっかけにしたり、議員や委員会の調査研究から、政策を実現していくサイクルを政策形成サイクルといいます。



厚生文教委員会 視察報告

★令和5年10月10日～12日

岩手大学教育学部附属中学校

「ICTを活用した主体的・対話的で深い学びについて」

岩手大学教育学部附属中学校では全国に先駆けてICT教育を研究し、令和3年度には一人一台のタブレットを整備した。「まずは使ってみること」からスタートし、ガイドラインを作成して授業での有効活用のみならず、生徒会や学級などの特別活動や部活動でも活用していた。



福島県伊達市

「伊達市高子駅北地区 CCAC 構想について」



「健幸都市」の実現を目指す伊達市では高子駅北地区の開発に伴い、すべての世代の人が元気で活躍できることを目指すCCAC構想を策定し、農業・福祉・健幸を基軸とした全世代・全員活躍のコミュニティによる世代循環型のまちづくりに挑戦していた。

また、利用者が大変多い屋内型の「あそび場」や旧庁舎の一室を改築し、住民がくつろげる場を提供している「オープンスペース」を視察した。

CCAC構想…年齢や職業、障がいの有無や性差に関係なく誰もが住みたく、自分らしく暮らせるまちづくりを目指す構想。

茨城県守谷市

「未来の教育もりやビジョン 2023 (ニューノーマルな学校教育) について」

守谷市では、みんなが幸せになるために自己実現できる新しい学校づくり(ニューノーマルな学校教育)を目指し「未来の教育もりやビジョン2023」を策定し取り組んでいた。児童・生徒との時間をつくり、教員の働き方改革を進める、週3日5時間授業を実現。不登校対応としてタブレットによるオンライン授業も実施。タブレットの有効活用で保護者との連絡や授業改善なども進めていた。



管内視察報告

★令和5年10月25日

瑞穂第一小学校・瑞穂中学校

「授業におけるタブレットの活用について」



国のGIGAスクールの取り組みを受け、瑞穂町でも小学校、中学校共に一人一台のタブレットを令和3年度に整備した。タブレットを活用した分かりやすい授業に向けた教員の努力が垣間見えた。

★令和5年10月31日

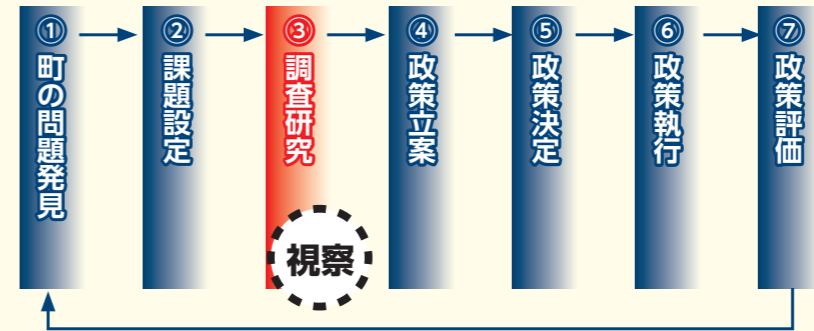
高齢者福祉センター「寿楽」

「改修が進められる寿楽の現況と改修計画について」

令和7年4月にリニューアルオープン予定の高齢者福祉センター「寿楽」を視察した。これまでの高齢者施設から五小の学童施設も併設した多世代交流施設へ移行する「寿楽」の現状を視察し、改修計画と利用方法について説明を受けた。施設の運営方法など具体的なことは、今後検討していくとのことであった。



政策形成サイクル



視察は、
③調査研究に該当します。

総務産業建設委員会 視察報告

★令和5年10月30日～11月1日

三重県伊賀市

「住民自治の取り組みについて」

伊賀市では、合併を機に自治基本条例を制定し、住民自治の仕組みとして小学校区ごとに住民自治協議会をつくった。運営には、自治会、NPO、団体、企業など、そこに住むあらゆる人が自由に参加できる。市から年間約1億2,000万円の交付金が交付され、自治協議会単位でその予算を活用して学童保育や子どもの居場所づくり、子ども食堂、高齢者の生活サポート、青色回転灯パトロールなど、地域に必要な事業を行っていた。地域の課題解決や地域振興の取り組みが、人のつながり強化に結び付いていた。



新駅建設中の現地を視察する様子

愛知県東海市

「新駅周辺等整備事業について」

東海市では、都市計画マスタープランや立地適正化計画に保健医療福祉拠点周辺地区として、「医職住」が整った「保健医療福祉拠点」にふさわしいまちの形成を図ることを位置付けている。都市計画道路の整備に伴う鉄道の高架化に合わせ、新駅の設置を求め、国庫補助を活用し、都市基盤の整備や生活サービス施設の維持・充実のための事業を進め、「保健医療福祉拠点」としての新駅周辺のまちづくりを行っていた。

愛知県幸田町

「駅を中心としたまちづくりについて」

幸田町では、新駅(相見駅)設置と土地区画整理事業によって駅を中心とした市街地形成を実現していた。駅周辺を商業地域として高度利用するため集合保留地街区を計画した結果、大規模商業施設「カメラガーデン幸田」の誘致が実現。スーパーマーケット、家電量販店、飲食店なども次々にオープンした。駅開業により一戸建て住宅建設がハイピッチで進み、駅前には高層マンションも建設され、賑わいが創出されていた。



駅の両側に建設された高層マンション

瑞穂町スポーツ奨励賞を受賞

田邊 琴葉(たなべ ことは)さん(8歳)

「ヤー!!」威勢のいい声と力強く凛とした動き。東京都のマイベスト空手道大会の形競技の部で、琴葉さんは見事に3位入賞を果たしました。「競技の時はね、緊張してたの」と優しい笑顔で話してくれました。学校では体育の授業やドッジボールが大好きで、K-POPダンスも習い始めました。体を動かすことが大好きな琴葉さん。全国大会に出場し東京都の強化選手になった6年生のお兄ちゃんと今日も練習に汗を流しています。輝く二人に皆さんでエールを送りましょう。「押忍!」



次回 3月定例会 (予定)

2月29日~3月22日

日	月	火	水	木	金	土
11 2月 建国記念の日	12 振替休日	13	14 請願、陳情の 受付締め切り日	15	16	17
18	19 議会運営委員会	20	21	22	23 天皇誕生日	24
25	26	27	28	29 本会議 (一般質問)	1 3月 本会議 (一般質問・議案審議)	2
3	4 本会議 (一般質問・議案審議)	5	6 総務産業建設委員会 広報広聴委員会	7 厚生文教委員会	8	9
10	11 予算特別委員会	12 予算特別委員会	13 予算特別委員会	14	15 予算特別委員会 (議員間討議)	16
17	18	19 議会運営委員会	20 春分の日	21	22 本会議 (議案審議)	23

■本会議、委員会の開始時刻は午前9時30分からです。なお、広報広聴委員会の開始時刻は午後1時30分、3月19日の議会運営委員会の開始時刻は午後2時からになります。上記の日程は予定ですので、進捗状況によって、本会議が休会になる場合もございます。傍聴に来られる際は、お電話または、ホームページで日程をご確認のうえご来庁ください。

お問い合わせ 議会事務局 ☎557-7693 (直通)

編集後記



本年度行われた出初式

今号では、西多摩初の議会モニターの皆さまにお集まりいただき、応募の動機や本会議・委員会を見ての感想などを伺いました。今後、ご意見や感想などを参考に、議会全体で共有し改善に向け話し合っていきます。

元日に発生した能登半島地震の被災者の皆さまにお見舞い申し上げますとともに早期の復旧・復興をお祈りいたします。

文：原 隆夫

広報広聴委員会 広報部会員

小川 龍美 大坪 国広
原 隆夫 香取 幸子
大和 雅彦 高橋 洋子
川島 靖弘



瑞穂町議会

検索

●インターネットで議会録画中継をご覧になれます。